

平成26年 第3回

渡島西部広域事務組合議会

し尿処理施設整備に関する調査特別委員会会議録

平成26年12月5日 開会

平成26年12月5日 閉会

渡島西部広域事務組合議会

会議録の作成にあたっては、誤りのないよう留意しておりますが、時間の関係上原稿校正は初校よりできなく、誤字、脱字がありますことを深くお詫び申し上げます。

まことに恐れ入りますが、ご了承のうえご判読いただきたくお願いいたします。

渡島西部広域事務組合議会
し尿処理施設整備に関する調査特別委員会
委員長 岩 館 俊 幸

目 次

平成26年12月5日（金曜日）第1号

○会議に付した事件	1頁
○出席委員	1頁
○欠席委員	1頁
○出席説明員	1頁
○職務のため出席した議員	1頁
○出席説明員	1頁
○職務のため出席した議会事務局職員	1頁
○開会・開議宣告	2頁
○管理者あいさつ	2頁
○調査付託事件	2頁
し尿処理施設整備に関する調査について (旧し尿処理施設解体及びストックヤード整備工事について)	
○継続調査の議決	3頁
○閉会宣告	3頁

平成26年 第3回

渡島西部広域事務組合議会

し尿処理施設整備に関する調査特別委員会

平成26年12月5日（金曜日）第1号

◎会議に付した事件

調査事件 し尿処理施設整備に関する調査について
(旧し尿処理施設解体及びストックヤード整備について)

◎出席委員（11名）

委員長	岩 館 俊 幸 (木古内町)	委員	斎 藤 勝 (松前町)
委員	佐 藤 孝 男 (福島町)	委員	西 川 敏 郎 (松前町)
委員	佐 藤 悟 (木古内町)	委員	新井田 昭 男 (木古内町)
委員	吉 田 峰 一 (知内町)	委員	木 村 隆 (福島町)
委員	谷 口 康 之 (知内町)	委員	西 村 健 一 (松前町)
委員	伊 藤 政 博 (知内町)		

◎欠席委員（0名）

◎職務のため出席した議員

議長 溝 部 幸 基 (福島町)

◎出席説明員

管 理 者	佐 藤 卓 也	副 管 理 者	竹 下 泰 弘
参 与	石 山 英 雄	参 与	大 野 幸 孝
参 与	大 森 伊 佐 緒	幹 事	若 佐 智 弘
幹 事	網 野 眞	幹 事	大 野 泰
監 査 委 員	花 田 修 一	事 務 局 長	坂 口 稔
衛生センター長	田 中 一 郎		

◎職務のため議場に出席した議会事務局職員

次 長	西 田 啓 晃	書 記	梅 岡 忍
書 記	鳴 海 千 草		

◎開会・開議宣告

○委員長(岩館俊幸) ただ今から会議を開きます。ただ今の出席委員は11名で半数に達しており、会議は成立致しました。

よって、し尿処理施設整備に関する調査特別委員会を開会致します。

本日の会議の進め方について、お諮り致します。本件に係る資料につきましては、各委員皆様のお手元に事前に配付されておりますので、資料に基づいて説明を受けたいと思います。

その後に委員各位から質疑及び意見交換を行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声多数あり)

○委員長(岩館俊幸) 異議なしと認めます。

よって、ただ今お諮り致しましたとおり、会議を進めることに決定を致しました。

◎管理者あいさつ

○委員長(岩館俊幸) 案件の調査に入る前に管理者より申し出がありますので、挨拶を行います。
佐藤管理者。

○管理者(佐藤卓也) 定例会及び全員協議会終了後引き続き、特別委員会にご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。

先ほど、定例会の行政報告でも申し上げましたが、汚泥再生処理センターは順調に稼働しており、汚泥肥料の受付は4,000袋を超え年度内生産分の予約が入り、順次構成町の住民へ配付しております。

なお、本日は平成26年7月8日開催の特別委員会において概略を説明し、9月の第2回定例議会で補正議決を頂きました地域計画作成委託業務において、旧し尿処理施設の解体とその跡地に建設する再生ゴミのストックヤードの概要や建設に伴う交付金等に一定の目途がつき、先般の参与・幹事会で了承が得られましたのでその内容について後程担当者から説明させますので、協議方よろしくお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

○委員長(岩館俊幸) 管理者の挨拶を終ります。

◎調査付託事件・し尿処理施設整備に関する調査について
(旧し尿処理施設解体及びストックヤード整備工事について)

○委員長(岩館俊幸) これより案件の調査を行います。

し尿処理施設整備状況に関する調査について、内容の説明を求めます。田中一郎衛生センター長。

○衛生センター長(田中一郎) それでは、お手元のし尿処理施設整備に関する調査特別委員会資料の1頁をお開き願います。

1のこれまでの経緯ですが、平成22年度を初年度とする5ヵ年の地域計画を策定し、この計画に基づき、平成22年度に旧ゴミ焼却施設の解体。

平成22年度から平成25年度にかけて汚泥再生処理センターの建設を行ってきたところです。

現在、旧し尿処理施設の残渣物及びアスベストの除去を行っているところですが、進捗率は80パーセントを少し超えたところとなっております。

また、平成28年度までの地域計画の変更を委託しており、まもなく国に提出出来る予定となっております。

2の今後のスケジュールですが、地域計画の変更により、構成町の過疎計画への登載を、11月中旬に担当者をお願いしております。平成27年度に旧し尿処理施設の解体撤去、平成28年度にストックヤードの整備を予定しております。3の過疎債の適用については、道に適償性の確認が取れております。4の循環型社会形成推進交付金につきましては今年4月1日に要領の改正が行われ、ストックヤードについても新たに該当となり、道の循環型社会推進課にも確認を致しております。

次の2頁目は年度毎の事業スケジュールと事業予算の関係でございますが、平成26年度の①から④までが進行中の工事等の内容と、その契約金額になっております。

平成27年度に予定している事業ですが、旧し尿処理施設の解体とそれに伴う監理業務、ストックヤード建設に関する実施設計を予定しております。

平成28年度事業として、ストックヤードの建設と外構工事、これに伴う監理業務を予定しております。次の3頁ですが、平成27年度と28年度に係る事業費の構成町内訳をお示ししたものです。①と②が旧し尿処理施設の解体関係で、使用している按分率は旧し尿処理施設建設時に使用した昭和48年4月1日現在の各町の人口比となっております。全額が起債対象となりますが、端数を衛生費負担金で算定している表となっております。③と④がストックヤードの建設に関係するものですが、按分率は現状では平成26年度のごみ再生処理費の按分率を使用しております。1番下の表が事業費の合計となります。

次の4頁ですが、今回の地域計画の変更による構成町の負担額を比較したものになります。計画変更前の、今年度中に解体までを行った場合の構成町負担額が、表の計画変更前①の下段1億2,574万5,000円で、当初、衛生センター施設整備基金を予定していた金額になります。計画変更によりストックヤード等を整備した場合の構成町負担額が計画変更後②の下段1億146万3,000円を予定しています。区分の左側に黄色でつぶしている番号4番、7番、8番、9番と4つありますが、これが計画変更により増える項目になります。

平成27年度以降の交付金及び過疎債に該当する計画変更後の事業費は表の右欄下の2億8,121万9,000円となります。この事業費の内訳が表の右下、点線で囲んでいる分で、循環型交付金5,870万円、過疎債2億2,200万円、一般財源51万9,000円を予定しているところであります。

次の、5頁の赤線で囲んでいる部分が解体を予定している区域になります。次の6頁が建設を予定しておりますストックヤードの立面図、平面図、面積で440平方メートルになる予定でございます。

最後の7頁がストックヤードに入るセミトレーラーの軌跡図をお示したものでございます。

以上で資料の説明を終わらせて頂きます。

○委員長（岩館俊幸） 説明が終了しましたのでこれより質疑を行います。質疑ございませんか。
（「なし」との声多数あり）

◎ 継 続 調 査 の 議 決

○委員長（岩館俊幸） 質疑がないようですので質疑を終わります。お諮り致します。本日の会議はこの程度にとどめ、ただ今議題となっております本調査はさらに調査が必要と思われまますので、継続調査とすることに致したいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声多数あり）

○委員長（岩館俊幸） 異議なしと認めます。

◎ 閉 会 宣 告

○委員長（岩館俊幸） よって、本調査については継続調査とする事に決定致しました。これで本日の会議を閉会いたします。どうもご苦勞様でございました。

（閉会 16時09分）

渡島西部広域事務組合議会特別委員会条例第22条の規定により署名する。

し尿処理施設整備に関する調査特別委員会

委 員 長 岩 館 俊 幸